

6月定例会号

市議会だよりは2月、5月、8月、11月の第2土曜日（定例会号）、1月1日（新年号）に発行します。
今回は9月定例会が開催予定です。



いちかわ

市議会だより

2021年（令和3年）第249号

8月14日（土）

発行 市川市議会
編集 議会運営委員会
市川市八幡 1-1-1 ☎ 334-1111
<https://www.city.ichikawa.lg.jp/cou01/1541000002.html>

議長に金子 正氏

副議長に大場 諭氏



議長選で投票する議員

6月定例会

市長提出議案19件を可決

2度目のシャワー室撤去決議を可決

市議会は、令和3年6月定例会を6月11日から6月28日まで開催し、第73代議長に金子正氏を選出しました。

6月定例会では、市長から、令和3年度市川市一般会計補正予算（第4号）についてなどの議案17件と諮問2件、報告17件が提出され、これらを一括議題として8会派が代表質問を行いました。

本会議での採決の結果、市議会は、市長提出議案の17件をいずれも原案通り可決・同意した他、専決処分につき承認を求める報告7件をいずれも承認し、諮問2件を異

議ない旨答申しました。また、市長からは、監査委員の選任に関する追加議案2件も提出され、市議会はこれら2件とも原案通り同意しました。

議員からは、「市長室に設置されたシャワー室に関する報道に対する説明を求める」とともに、撤去を求める決議について「要旨については8面に掲載」などの決議15件が提出されました。その他、請願の審議や、議員提出議案については、決議案1件、規則改正案1件及び意見書案3件を可決、

条例案1件、決議案5件及び意見書案4件を否決しました。その他、請願2件を採択しました。なお、決議第1号「村越祐民市長の不信任を求める決議について」は否決されました。

（代表質問は2・4面、一般質問は5・6面、審議結果一覧は7・8面に掲載）



今定例会2日目の6月14日、松永修巳議長、秋本のり子副議長から辞職願が提出され、議会はこれを許可しました。その後、本会議で後任の議長・副議長の選挙を行った結果、有効投票数41票のうち36票を得た金子正氏（創生市川）を第73代議長に、有効投票数41票のうち30票を得た大場諭氏（公明党）を第61代副議長に選出しました。

金子正氏は、平成3年市議会議員に初当選し、現在8期目。これまで第60代議長、監査委員などを歴任（市川南3丁目在住、78歳）。

大場諭氏は、平成19年市議会議員に初当選し、現在4期目。これまで健康福祉委員会委員長などを歴任（下貝塚1丁目在住、65歳）。

議員選出の監査委員に

荒木詩郎氏、岩井清郎氏

市長から、議員選出の監査委員に荒木詩郎氏（緑風会第1）、岩井清郎氏（創生市川）を選任する追加議案が提出され、議会はこれに同意しました。

また、任期の満了に伴い、常任委員会及び議会運営委員会の委員を新たに選任した他、各種審議会等委員の推薦を行いました。

その他、行徳臨海部に関連する特別委員会において、委員長の辞任に伴い、委員長の互選を行った旨の報告がなされました。

（各委員会の委員名簿は7面に掲載）

議員の表彰

全国市議会議長会

在職30年表彰

金子 正

在職10年表彰

石原みさ子

青山ひろかず

高坂 進

石原よしのり

越川 雅史

◆主な議案

○職員の服務の宣誓に関する条例の一部改正について

行政手続における事務の効率化及び市民の負担軽減を図るため原則として押印を省略することとした本市の方針を踏まえ、職員の服務の宣誓における押印を不要とするほか、所要の改正を行うものです。

【主な質疑】

「服務の宣誓は、非常に重みがあり、厳正に行うべきものであることから、宣誓書には押印が必要ではないかと考えるが、不要とする理由は何か」との質疑に対し、「国においても、対面主義や押印の原則の見直しをしており、内閣府から『地方公共団体における押印見直しマニュアル』が示された。それを受け、本市においても、申請書等への押印省略に関する要綱を改正し、原則として押印を省略することとした。また、押印は省略するが、署名は行うものである」との答弁がなされました。

○市川市税条例の一部改正について

地方税法等の改正に伴い、個人の市民税について、特定一般用医薬品等購入費を支払った場合の医療費控除の特例の適用期限を延長するとともに、均等割及び所得割の非課税の範囲に係る扶養親族の範囲を見直すほか、所要の改正を行うものです。

○市川市国民健康保険条例の一部改正について

新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した被保険者等に係る国民健康保険税の減免の申請期限に関する特例措置を講ずるものです。

○市川市公民館の設置及び管理に関する条例の一部改正について

新たな公共施設を整備するに伴い、中央公民館を廃止するものです。

○令和3年度市川市一般会計補正予算（第4号）

一般会計補正予算案は、歳出において、学校コンピュータネットワークシステム構築委託料をはじめ、地域コミュニティゾーンなども施設基本設計・実施設計委託料など、歳入において、新型コロナウイルスワクチン接種対策費負担金、財政調整基金繰入金など、それぞれ25億4105万1千円を追加し、歳入歳出の総額を163億5547万円とするものです。

◆報告

6月定例会では、専決処分の承認を求める報告7件がなされ、議会はこれらをいずれも承認しました。また、継続費の通次繰越し、繰越明許費の繰越しなどの他、市川市土地開発公社、公益財団法人市川市清掃公社及び公益財団法人市川市文化振興財団の令和2年度決算及び令和3年度事業計画、専決処分の報告3件の、合わせて10件の報告がなされました。